



過疎地域に新たな息吹を吹き込む。

しろつめ舎 店主・渡邊さんご主人が5歳の頃に建ったという一軒家。現在は空き家となっていたこの物件を、家業の左官店のギャラリーとしてリノベーション。中には美容・健康サロン、そして布小物工房のしろつめ舎が入る。店内に並ぶ商品は、あたたかさにあふれていて、渡邊さんの人柄が感じられる。

ここは沼津市の中でも特に人口流出が多い地区の一つ。働く場所がないから、若者が出て行ってしまう。だったらここに仕事場を作ろう!と動いたのが渡邊さんだ。「ここは小学校の目の前だし、人が集えば地域の治安も良くなるし。」 そう話す

渡邊さんは3人の子どもを持つお母さんでもある。子どもが生まれた時に、自分で服を作って着せたい、そう思い作り始めたのが、しろつめ舎の原点。技術も知識もないけれど、作りたい!という熱意とアイデアだけはたくさんあった。試行錯誤を繰り返しながら、夢中でミシンに向かっていたという。作ることが「好き」なのだ。しかし、今回ギャラリーをオープンするにあたり、この布小物工房のことは考えていなかったという。子どもが大きくなって、家業も落ち着いた頃に始めようと思っていたのだ。そんな時、受験生の息子に「自分の好きなことをやりなさい。」



と言ってハッとしたという。本当にやりたい事を後回しにしているのは自分だった。そして、しろつめ舎のオープンを決意した。「しろつめ舎」のネーミングの由来—子供の頃、シロツメクサで夢中になって花冠を作った。それは上手だとか下手だとかの問題ではなく、とにかく好きな事に没頭するあの気持ちを大切にしたい、という思いが込められている。「専門知識もない普通の主婦がしろつめ舎を始めたのを見て、私もやりたい!という人ができたらいいな。」と渡邊さん

しろつめ舎の建物は、地域の人が集うパブリックスペースにもしたいという。おばあちゃんたちの趣味の発表の場、子どもたちの遊び場…可能性は無限に広がる。過疎地域にある一軒の空き家が、新たな活力を生む拠点になろうとしている。

しろつめ舎の布小物たち


Shirotsume no Sato


アニマル
ポシェット

ベビースタイ



	しろつめ舎
沼津市内浦三津231 TEL 055-919-1529 10:00~16:00 定休日:水・土曜/第二・第四日曜	